

学会事務関連の連絡先

学会事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3
日本赤十字看護大学内 日本ヒューマン・ケア心理学会事務局
E-mail : office@j-hc.jp

事務局長

東京成徳大学 石村郁夫

学会機関紙事務局

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1
東北大学大学院教育学研究科 安保英勇研究室気付 「ヒューマン・ケア研究」編集委員会
E-mail : amb@sed.tohoku.ac.jp Tel &Fax 022-795-6149

学会広報メール

〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1510番地
埼玉学園大学 人間学部心理学科 羽鳥健司
日本ヒューマン・ケア心理学会 学会広報メール事務局
E-mail : k.hatori@saigaku.ac.jp

編 集 規 程

1. 名称: 本会誌は「ヒューマン・ケア研究」と称し、英文名は Journal of Human Care Studies とする。
2. 企画・編集: 本会誌は当分の間、年2回発行するものとし、その企画・編集は常任理事により構成される機関誌編集委員会が担当する。
3. 機関誌に関する事務は当分の間、学会事務局が取り扱うものとする。
4. 内容: 本会誌は、本学会正会員のヒューマン・ケア心理学に関する未刊行の論文を掲載する。本会誌には、オリジナルな内容の研究報告である原著論文、原著論文としては情報が不足しているが、公表する価値のある報告である短報、また追試的あるいは試験的内容の研究報告である報告・資料等の論文; 巻頭言、展望、特集、書評等の編集委員会による依頼論文; 及び本学会報等が収録される。
5. 投稿論文は、編集委員会によって審査され、採択の可否が決定される。その際、編集委員会は、本学会正会員の編集協力者に査読を依頼し、その査読結果を参考にして採択の可否を決定する。
6. 投稿論文の原稿は、「ヒューマン・ケア研究」の執筆要項に準じたものとする。執筆要項は、編集委員会で定める。
7. 採択論文の掲載に要する費用は、原則として本学会で負担するが、超過分の頁及び図表等に関してその費用の全部もしくは一部を執筆者に請求することがある。なお、費用については別に定める。
8. 採択論文の別刷りは、執筆者の希望部数に応じるが、その費用は執筆者の負担とする。
9. 投稿採択論文は返却しない。
10. 本会誌に掲載されたものの著作権は、本学会に帰属する。

執 筆 要 項

1. 原著論文(Article)は16,000字相当(図表も含む。以下同様)、但し刷り上がりで15頁までとする。展望(Review)は20,000字程度、但し刷り上がりで18頁までとする。報告・資料論文(Report)は12,000字程度、但し刷り上がりで11頁までとする。短報(Short Report)は4,000～8,000字相当、但し刷り上がりで8頁までとする
2. 第1著者は会員でなくてはならない。
3. 上記原稿はA4判用紙に32字×25行、英文原稿の場合は、ダブルスペース仕様で17行前後を目安とする。原稿を投稿用紙、英文校閲証明書と共に、下記編集委員会まで電子メールにて提出^{*}すること。なお、上記書式の場合、本文2頁が掲載時ではおよそ1頁に相当する。
4. 論文の表題、著者名、所属機関名およびそれらの英訳は本文とは別に書くこと。
5. 原著論文および資料論文は原則として、問題(目的)、方法、結果、考察、文献からなることが望ましい。
6. 短報を除き、全ての論文には英文アブストラクトをつける。アブストラクトは、問題(Objectives)、方法(Method)、結果(Results)、結論(Conclusion)などを100～175語以内で簡潔にまとめる。投稿時には、アブストラクトの日本語原稿(和文抄録)も添付すること。英文アブストラクトは、投稿前に専門

^{*} 投稿用紙と英文校閲証明書は学会HPからダウンロードできます。提出は電子メールによる添付が原則ですが、英文校閲証明書など添付が難しい場合、上記編集委員会まで郵送またはFAXでお送りください。

家の校閲を受けること。英文アブストラクトおよび日本語原稿(和文抄録)にそれぞれ3～5語のキーワードをつける。なお、英文アブストラクトは各自ネイティブチェック(専門家)を受け、その証明書を提出する。(Homepage からダウンロードすること。)

7. 本文の記述は簡潔で明解にし、新仮名使い、当用漢字、算用数字を用い、図表はその大きさを本文に換算して所定枚数に納めること。所定枚数を越えた分については著者負担とする。
8. 図および写真はそのまま掲載可能な鮮明なものを提出すること。なお、図がカラーの場合には著者負担になる。
9. 表の場合は上に Table1, Table2あるいは表1, 表2のように、図の場合には下に Figure1, Figure2あるいは図1, 図2のように通し番号をつけ、それぞれに見出しをつける。表、図、写真などの題、説明文、図表中の文字は英文にしてもよい。図表は本文中には挿入せず最末尾に置き、掲載箇所のみ本文欄外に明示すること。
10. 数字は原則として算用数字を用いる。計量単位は原則として国際単位を用いる。
11. 略語は一般に用いられているものに限る。ただし、初出の時にその旨を明記する。
12. 脚注は通し番号をつけて別紙に書き、本文中の番号と対応するように註1) 註2)のように記す。
13. 外国人名、地名等の固有名詞以外は訳語を用い、必要な場合、初出のとき原語を付すること。
14. 本文で引用された文献の配列は、著者名のアルファベット順とする。

文献掲載様式は、雑誌の場合：著者名・発行年(西暦)・題名・雑誌名・巻号数・掲載頁とする。単行本の場合：著者名・発行年(西暦)・書名・発行所・引用・参考箇所の頁とする。翻訳の場合：原典の著者名・発行年(西暦)・書名・発行所(著者名の訳語・翻訳者名・翻訳書の発行年・書名・発行所)とする。このとき、和文、欧文を問わず、雑誌の巻数はボールド(太字、あるいは波線のアンダーライン)に、また欧文の雑誌名および書名はイタリック(斜体、あるいは実線のアンダーライン)にする。

<凡例>

日野原重明(1999). <ケア>の新しい考えと展開 春秋社

木野和代(2000). 日本人の怒りの表出方法とその対人的影響 心理学研究, 70, 494-502.

Sourial, S. (1966). An analysis and evaluation on Watson's theory of human care.

Journal of Advanced Nursing, 24, 404-402.

Kleinman, A. (1980). Patients and healers in the contexts of culture. University of California Press.

(クラインマン, A. 大橋英寿・作道信介・遠山宜哉・川村邦光(訳)(1992). 臨床人類学—文化のなかの病者と治療者— 弘文堂)

なお、その他表記の詳細については、『APA 論文作成マニュアル』あるいは日本心理学会発行の「執筆・投稿の手びき」を参照のこと。

原稿送り先

「ヒューマン・ケア研究」編集委員会

〒980-8576

宮城県仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院教育学研究科 安保研究室気付
TEL : 022-795-6149 (FAX 共) (ダイヤルイン)
E-mail : amb@sed.tohoku.ac.jp

